

患者の病歴によるAFOまたはKAFO

www.orthosis-configurator.com

義肢装具士: _____

会社: _____

顧客番号: _____

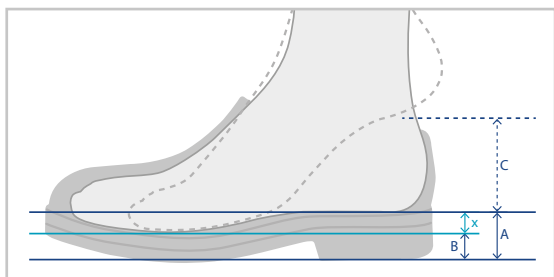
日付: _____

患者の個人データは、注文処理と統計学的評価のために保管・使用されますのでご了承ください。
 装具の荷重容量の計算は、ここに記入されたデータに基づいて行われます。このデータは、装具を利用しているうちに変わることがあります。
 この装具療法シートに記入する際は、今後考えられる変化を考慮に入れてください(例: 体重変化、筋肉強度の成長や変化)。

患者データ

患者氏名	生まれた年	体重	脚
		kg	左脚 右脚
データプライバシーの目的のため、下の名の最初の2文字と、名字の最初の2文字のみを記入してください。	性別 女性 男性	身長	左右の足で以下の点が異なっている場合は、装具療法シートを2枚使用してください。
		cm	

靴の測定



靴のサイズ (EU式) _____

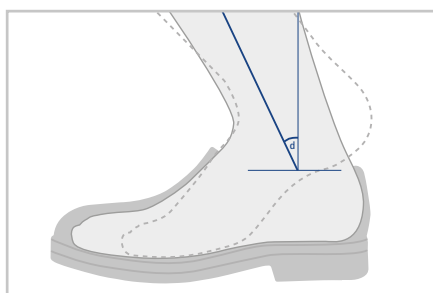
高さ補償 (C) _____ mm

踵高さ (A) _____ mm

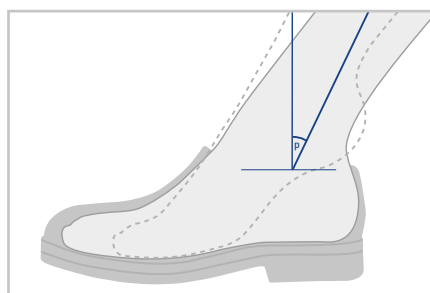
靴底厚さ (B) _____ mm

ピッチ ($x = A - B$) _____ mm

上側足関節の運動範囲



背側



底側

内反変形



最大

補正

外反変形



最大

補正

過伸展



最大

補正

伸展の制限



股関節

膝関節

患者の病歴によるAFOまたはKAFO

www.orthosis-configurator.com

6分間歩行試験を行う前の筋肉強度 (Jandaによる分類)

股関節屈曲		股関節伸展
0 1 2 3 4 5		0 1 2 3 4 5
膝関節伸展		膝関節屈曲
0 1 2 3 4 5		0 1 2 3 4 5
背屈		底屈
0 1 2 3 4 5	0 1 2 3 4 5	0 1 2 3 4 5

- 0 (ゼロ)** - 完全まひ、収縮の徴候なし
- 1 (わずか)** - 若干収縮するが、関節は動かない
- 2 (不良)** - 重力がかからない状態で完全な運動範囲
- 3 (可)** - 重力に対抗して完全な運動範囲
- 4 (良)** - ある程度の抵抗と重力に対抗して、完全な運動範囲
- 5 (正常)** - フル強度の抵抗と重力に対抗して、完全な運動範囲

6分間歩行試験 (6MWT)

この試験は、筋肉疲労を引き起こすためのものです。最初の筋肉機能検査の後に行う必要があります。6MWTの直後に2回目の筋肉機能検査を行って、筋肉疲労を考慮に入れた筋肉強度を測定します。

完了 右記経過後に中止 _____ 分

歩行合計距離 _____ m = 経路を歩いた回数: _____ X 経路の距離: _____ m

6MWTの後の筋肉強度 (Jandaによる分類)

股関節屈曲		股関節伸展
0 1 2 3 4 5		0 1 2 3 4 5
膝関節伸展		膝関節屈曲
0 1 2 3 4 5		0 1 2 3 4 5
背屈		底屈
0 1 2 3 4 5	0 1 2 3 4 5	0 1 2 3 4 5

Ap測定値 (KAFOの膝の機械的旋回点)



活動レベル



1. 屋内歩行

患者は、装具を使って、平らなところをゆっくり移動することができるか、または移動できるようになる可能性がある。身体的な障害により、ごく短距離・短時間の歩行が可能である。



3. 無制限の屋外歩行

患者は、普通～早足の速度で、および変化する速度で、歩いて移動することができるか、または移動できるようになる可能性がある。ほとんどの環境障害物に対処することができる。さらに、患者は自然環境を歩くことができ、装具に対する平均以上の機械的荷重をかけない程度の、職業的活動や治療的活動、その他の活動を行うことができる。



2. ある程度の屋外歩行

患者は、装具を使って、ゆっくりした速度で歩いて移動することができるか、または移動できるようになる可能性があり、縁石や段差、凹凸のあるところなど、小さな環境障害物に対処することができる。



4. 特に高強度の無制限屋外歩行

患者は、装具を使って、無制限の屋外歩行で移動することができるか、または移動できるようになる可能性がある。さらに、機能要求が高いことから、装具に対して高い衝撃荷重、張力、変形力が生じる可能性がある。主にアスリートと子供が該当する。